

水揚げ大切に

～スモークツリー出荷説明会～

尾上華姫会（森内勇治会長）は6月22日、尾上青果センターでスモークツリーの目揃え会を開き、会員10人が参加しました。

同センターの長尾賀子さんが収穫の注意事項を説明。「収穫後の水揚げは品質につながる重要な作業。水道水を使用して1日以上行い、バクテリアが繁殖しないように必ず水を替えてほしい」と呼び掛けました。

同地区のスモークツリーは品質が良いことから、とても需要があります。収穫は7月下旬まで行われ、約2万本を主に関東市場に出荷する予定です。



出荷規格を確認する会員

規格確認で品質統一

～トマト出荷説明会～

尾上トマト部会（山口知治部会長）は6月23日、尾上青果センターで出荷説明会を開き、約20人が参加しました。出荷規格や今後の栽培管理、販売額1億7千万円以上を目標とすることを確認しました。

中南地域県民局農業普及振興室の普及指導員は「かん水、温度管理といった裂果軽減対策や発生状況に応じて病害虫防除を徹底してほしい」と呼び掛けました。また説明会終了後には目揃え会を行い、同青果センターの齋藤寿徳統括がトマトのサンプルを手に取り出荷規格や注意点を説明しました。



トマトの出荷規格を説明する齋藤統括（右）

りんご摘果くわしく

～女性のためのりんご青空教室～

尾上基幹グリーンセンターと石川基幹グリーンセンターは6月16日、平川市の園地で「女性のためのりんご青空教室」を合同で開きました。両地区の女性生産者約20人が参加し、りんごを大きくするために重要となる摘果作業などを学びました。

剪定士の駒井敬樹さんが講師を務め、わい化栽培の誘引作業や摘果作業を実演しながら説明。「結実量が十分である場合はツルが太く、形のいい大きい果実を優先し残す。来年の花芽形成のために摘果作業は早めに行い、果実も強め（多め）に摘果する」と話しました。

参加した生産者は「摘果作業の正しいやり方を学ぶことができたので、今後の作業に生かしたい。参加者全員が女性なので質問などもし易かった。今後も女性のための講習会を開いてほしい」と話していました。



摘果作業を説明する駒井さん（左）と学ぶ生産者